

**放送日** 平成28年7月1日（金）  
**担当者** 経済部観光振興課長 山田 基

おはようございます。観光振興課長の山田です。

観光振興課は、本年4月に機構改革により新設され、観光施策に関すること、観光協会を通じたイベント事業の開催、その他、各種イベント誘致などの取り組みを行っています。

北広島は交通の要衝として多くの方の往来がありますが、ベットタウンのイメージが強いこともあり、市内周遊の観光に結びつきづらいなどの課題があります。また、多くの魅力や地域資源を持っている北広島ですが、それを十分に活かしていきれていないといった側面もあります。まちにある地域資源を活用し、いかに観光に結び付けていくのが、今後の大きなポイントであると思います。そして地域への経済的な効果が十分にもたらされるような仕組づくり、関係団体や観光事業者との連携による取組みを一層進めていく必要があると考えています。

さて、私は普段の生活や仕事で、北広島のまちの良さを市外の方に気づかされることがあります。我々にとって当たり前のものが、実は貴重な財産、或いは宝であったりします。観光を通じて、市外の方に「良いまちですね」と評価されれば、我々も市民も嬉しく思います。このように、まちの良さを気が付かせてくれるのが観光の力だと思います。私は、これらの気付きが様々な形で生まれ、そして身近に感じ取れるよう、観光振興課の取り組みを通じて、地域にある資源を観光資源として磨き上げるとともに、市民が北広島の自然や歴史、文化に対する誇りを深める機会をつくり、にぎわいと魅力あるまちづくりを推進して参りたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月4日（月）  
**担当者** 水道部業務課長 遠藤 智

おはようございます。水道部業務課長の遠藤です。

私たち「業務課」と「水道施設課」は、水道部の中で、飲料水や生活用水を供給する事業を行っております。

この水道事業は、お客様からいただいた水道料金をもとに、独立採算によって経営されており、地方公共団体が、企業を経営していることから、「地方公営企業」と呼ばれています。

私たち業務課は、この公営企業という組織の中で、財政、経理、出納、契約、総務など、一般会計では、複数の課にまたがっている仕事を一手に担っているほか、さらには水道料金の収納等の業務も行っております。

さて、ひと月ほど前になりますが、水道についての理解と関心を深めてもらうため、6月1日号広報に特集記事を掲載しました。

その中で、本市の水道の発祥とされている「西の里開拓専用水道」に関わった方に取材をさせていただきました。

現在、78歳の方です。この方は、10代の頃までは日々の飲み水にすら不自由する状況で、毎日、朝・夕2回、近くの沢で、湧き水を汲むのが日課とのことでした。

皆さんは、この記事を見て、どのような感想を持たれたでしょうか。

わずか60年ほど前の日常生活の1コマです。

「蛇口をひねると水が出る。」 当たり前のことだと思っているかもしれませんが、このように、水源確保に奮闘した先人の苦労の上に成り立っていることを忘れてはいけません。

将来にわたり、安全で良質な水を安定して供給していくこと、これが、私たち水道事業者の努めと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月5日（火）  
**担当者** 水道部水道施設課長 橋本 洋二

おはようございます。水道施設課長の橋本です。

みなさんをご存知だと思いますが、北広島市の水道水は、石狩東部広域水道企業団から100%完全受水により、みなさんに安心・安全な水道水を供給しています。

私たちは普段、水道水は飲めて当たり前のものだと思っていますが、日本のように水道水が安全で飲んでも問題のない国は、世界で15カ国くらいだと言われています。いつも安心して飲める日本の水道水ですが、ひとたび災害が起ると安心・安全な水道水が供給できなくなります。

何故災害に備えて家庭で1人当たり、1日3リットルの飲料水を3日分備蓄したほうが良いのでしょうか？

人間は水分の摂取・排出を繰り返すことで生命を維持しています。成人1人当たりの1日の水分摂取・排出量はどちらも2.5リットルとされていますが、余裕を加えて3リットルとしています。また、災害発生から救援体制が整うまでに、3日間かかると言われていているからです。

「みなさんも災害に備えて飲料水を備蓄しておきましょう！」

さて、そろそろ私の所属する水道施設課の仕事内容についてお話をさせていただきます。水道施設課は給水区域内における水道施設の計画・設計・積算・工事監督、給排水設備の審査・検査、水道施設の維持管理などを行っています。

また、非常時に水道水を供給出来るよう応急給水訓練や若手職員による水道事業内研修なども行っており、ライフラインである水道を守り続けて行く事を念頭におき、職員一同元気に職務に励んでいるところです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月6日(水)  
**担当者** 水道部下水道課長 藤縄 憲道

おはようございます。下水道課長の藤縄です。

下水道は電気やガス、水道と同様にライフラインの一つとされています。北広島市の下水道は昨年度末で普及率96.7%に達していますが、全国の下水道普及率は約78%、最も普及率の低い徳島県では17.2%となっています。

ライフラインの特徴として、平常時はその存在すら忘れて利用していても、いざ災害などで利用できなくなると生活に多大な影響を与えます。

そのため下水道には持続性が強く求められており、近年は処理場や下水道管が故障したり壊れる前に更新する「予防保全」という考えに基づき、長寿命化計画を策定して更新事業を実施しています。

また、下水道管については長年の間、徐々に汚物や油などが堆積して流れが悪くなりますので、定期的に高圧洗浄により清掃を行うことで施設の維持を図っています。

一方、下水道事業は水道事業などと同じく料金収入による独立採算制が原則の公営企業の一つです。平成27年度に国から人口3万人以上の市町村については、公営企業会計へ移行するよう要請があり、下水道事業の明確化、透明性の向上を図るために平成31年4月に公営企業会計への移行する準備を進めています。

最近では異常気象が多くなってきており、大雨などがあれば、雨水調整池や下水道管の施設点検にスタッフ総出で対応することになります。そのため、スタッフは各自の業務に関わらず、臨機応変な対応が求められますので、普段からの意思疎通やチームワークが非常に重要と感じています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月7日(木)

**担当者** 水道部下水処理センター長 藤本 正志

おはようございます。下水処理センター長の藤本です。

下水処理センター(愛称・あしる)では、家庭などから排出される汚水をきれいにするため、毎日24時間休みなく処理を行っています。清潔で快適な生活環境の確保や、河川などの水質保全のため、我々の生活には欠くことのできない施設です。

それでは、現在行っている、生ごみとし尿・浄化槽汚泥の混合処理、バイオマス利活用についてお話したいと思います。

まず、バイオマスとは、「再生可能な、生物由来の有機性資源で、化石資源を除いたもの」とされ、再生可能な「資源」であり、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素の排出削減に大きく貢献することが特徴です。

生ごみは、クリーンセンターの埋め立て容量が逼迫し、生ごみを別途処理することにより、埋め立て量を削減し延命化を図るため、そして、し尿・浄化槽汚泥は、当時、北広島市、長沼町、南幌町、由仁町のし尿処理を行っていた道央地区し尿処理場の老朽化が進んだため、経済性などを考慮した結果、「資源」である生ごみとし尿・浄化槽汚泥を下水汚泥と混合して処理を行うこととなりました。

これは、既存施設であるメタン発酵を利用した汚泥消化タンクに、バイオマス、特に生ごみを受入れることによって、バイオガスである消化ガスの発生量が増加します。発生した消化ガスは全てエネルギーとして下水処理センターで利用し、重油使用量を大幅に削減することができました。

また、最後に残る汚泥は脱水、乾燥の工程の後、肥料『あしるのめぐみ』として、市内の農家にご利用いただき、毎年4月には多くの市民の皆様へ販売し、大変好評をいただいております。

下水処理センターには、ポンプ設備など多くの機械設備があり、常に良好な運転・管理を行わなければなりません。今後もコスト削減を意識し、効率的な運転を継続するよう努めてまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月8日（金）  
**担当者** 会計室契約課長 川口 弘恭

おはようございます。契約課長の川口です。

契約課の紹介につきましては、4月に会計室長が業務内容の紹介をしておりますので、別のことを話そうと思いましたが、先月、新人職員と話す機会があり、その中で契約課はどのようなことをしているのですか、との質問がありましたので、契約課の紹介を簡単にします。

契約課では、物品財産担当、工事契約担当のスタッフに分け、物品購入、工事及び建設工事に係る業務委託の入札、契約事務、公有財産の管理、処分に関する業務と、指定管理の選定に関する業務を行っているところであります。職員体制は、あまり地名は知られていませんが、釧路管内の音別町出身の元気な若い職員を含めて、5名体制で業務を行っているところであります。

さて、話は変わりますが、私が北広島職員となって41年目となりましたが、最近の若い職員を見て感心していることがあります。それは、朝でも昼でもすれ違う時目が合えば、必ず挨拶をしてくれます。自分の若い時も同僚はもとより、目上の方々に対し笑顔で挨拶をしていたなと思い、どうでもいいように思われますが、日々の挨拶がその日の業務を気持ちよく行う上で大切であると、改めて認識させられたような気がします。

若い職員から見て、強面の先輩たちがいるかもしれませんが、挨拶はコミュニケーションをとる第一段階だと考えますので、これからも続けていっていただきたいと思います。私もやさしい笑顔で声をかけたいと思います。

また、職員のみならず、一般の市民の方々が気持ちよく市役所へ来ていただくためにも、おはようございます、帰り際には、お疲れさまでしたという一言が大切だと考えますので、私自身も今後においても、これらを継続して行っていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月11日(月)

**担当者** 会計室工事審査・検査担当参事 小島 靖雄

おはようございます。工事審査・検査担当参事の小島です。

工事審査・検査担当とは、事務職の方は馴染みが薄いと思いますが、建設工事等を発注し監督員として現場に立つ技術職の方々にとっては、必ず付き合わなければならない部署であります。

一定額以上の工事や業務委託が対象となり、毎年約100件、金額にして数十億円の工事等の設計審査及び完了検査を担当2名で分担しています。しかも、再任用職員だけで構成された庁内唯一の部署であります。

そして、我々に課せられた職務には、設計・積算内容や請負業者の施工状況のチェックはもとより、審査や検査を通じて、若手・中堅の技術系職員のスキルアップのお手伝いをすることも含まれていると思っております。

ということで、まもなく職員通算40年を迎える先輩として思うところを話します。

これから、市役所を背負って立つ若い職員の皆さん、苦勞が多い割には報われない処遇を嘆かず、どの部署に配属されようと努力した自分の足跡を必ず残すという仕事のやり方を身に付けてください。マニュアルでも計画書でも、なんでもいいから形に残し次の部署へ異動することです。

過去を振り返るとき、苦勞した証しは大事なものです。そして、技術職であろうと事務職であろうと業務を進める上で市民にとって、また市にとってどういう選択がよりベストかを常に考え、実践できる職員を目指してください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月12日（火）  
**担当者** 会計室会計課長 広田 律

おはようございます。会計課長の広田です。

会計課は、市の会計事務をつかさどる会計管理者の事務を行っており、主な業務は、現金・有価証券の出納保管、決算の調整、支出負担行為の確認や支出命令の審査などです。

さて、この会計課は、予算を執行する側の市長の相互牽制機関として独立した組織となっており、市長が任命する会計管理者は、市長や副市長、監査委員と夫婦や兄弟姉妹の関係にあるものはなることができません。それほど厳格な立場で、会計事務が適正に執行されているかを審査する重要な役目を担っています。

会計システムの導入から13年がたちました。誰もが経理伝票を起票できるようになり、過去の伝票類の検索も容易になるなど、電算化による経理事務の効率化と迅速化が図られました。

その反面、経理担当者から次の担当者へと引き継がれていた経理事務のノウハウも、スタッフ全員が経理担当者となっている今日では、十分に引き継がれていないように感じています。

市の経理事務は、どんなに小さなものでも、その購入の可否から支払いに至るまで、法令にのっとって執行されます。会計課は、他の部署と比べて、市民と接する機会はほとんどありませんが、法令に基づいた適正な予算執行のためのチェックを厳正に行い、債権者へ正確かつ迅速に支払いをすることが、住民から信頼される業務や組織につながると考えています。そのためにも、会計課は、より一層の審査の資質向上を目指していかなければなりません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。



**放送日** 平成28年7月13日（水）  
**担当者** 議会事務局次長 千葉 めぐみ

おはようございます。議会事務局次長の千葉です。

議会事務局は若い職員の皆さんにはあまりなじみのない部署かと思えます。一体どんなことをしているのかという疑問があるかと思えますので、日頃の業務について少しだけ説明させていただきます。

年4回開催される定例会、必要に応じて開催される臨時会と委員会などの会議を円滑に進めるための準備、議会と執行部の連絡調整が事務局職員のメイン業務です。この中には、会議の招集や次第の作成、資料の取りまとめ、会議録の作成、録音やインターネット中継機器の操作などがあります。

このほかには、議員の視察研修の随同行も重要な業務の一つです。担当者は議員と相談しながら、視察先や視察内容を何ヶ月も前から検討します。相手のあることなので、視察先がなかなか決まらず、途方にくれることもあります。視察可能と回答をいただいたときには電話に向かってお辞儀をしてしまうほどです。随行自体も非常に緊張はしますが、ほかの部署では経験することの出来ない議会事務局ならではの業務といえると思います。

仕事の話はこの程度にして、この場をお借りして、北広島の素敵な場所を1カ所ですが紹介したいと思います。それは山手町1丁目から中の沢までの広葉通です。車だとほんの1分間ほどであっという間に過ぎてしまいましたが、歩くと約10分の距離です。目の前に広がる野幌原始林の山桜や紅葉。中央分離帯のツツジ。真夏の街路樹の濃い緑。周りの森からの鳥のさえずりと虫の声など、季節に応じた楽しみがあります。皆さんもぜひ一度歩いてみてください。お勧めします。身近にこんな素敵な場所がある北広島が大好きになるはずです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月14日(木)  
**担当者** 監査委員事務局次長 川口 昭広

おはようございます。監査委員事務局次長の川口です。

監査委員事務局は、市長部局から独立した執行機関となっており、第三者の立場で財政援助団体等監査、財務事務の執行等に関する定例監査、各会計の決算審査、現金の出納事務に関する例月出納検査などを行っています。

本市では、総合計画を基本に、総合戦略や個別計画により、職員全員が一丸となり、さまざまな施策を実施し、成果を上げています。この施策を進めていく過程で重要になるのが、内部意思決定である決裁であり、会計事務であります。ここでの事務の誤りは、施策の効果だけでなく市自体の信頼を失わせる可能性があります。

私たちの職場では、年齢差が30歳以上（いわゆる一世代以上の年齢差）の職員が協力して業務を行っているわけですが、これはなかなか困難なことです。文書管理や会計処理において、管理職が当然と思っていることは、若手職員もそう思っているとは限りません。今年2月、総務部から公文書等の訂正についての事務連絡がありましたが、実際に監査を行うと、修正テープや修正液等を使用しての訂正が正しいと思っている職員が何人かいました。

各世代によって、さまざまな考え方や価値観があります。ベテラン職員と若手職員では、育ってきた環境が違います。仕事の進め方や仕事の理解度も「当たり前が違う」と言ってもいいかもしれません。このため、毎日の職場において、コミュニケーションを図ることはもちろん、管理職においては常に全体像を把握し業務を行っていくことが必要になっています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月15日（金）  
**担当者** 教育部学校教育課長 櫻井 洋史

おはようございます。学校教育課長の櫻井です。

市役所の部署は、名称や担当の変更はありますが、仕事自体が無くなってしまふことはほとんどありません。

私が、30年ほど前に配属され、今は存在しない部署について紹介します。

当時は、バブル時代真っ盛りで、リゾート開発などにどこの自治体も関心を持っていた時代でした。当市での二つの案件の実現に向け設置されたのが企画部地域開発推進室です。課長職の室長と主査、私の3名体制でした。

案件のひとつは、西の里椴山地区のJR線寄りに、滞在型リゾートや大型ショッピングモールを建設しようとする「ノーザンワールド構想」で、もう一つは現在、南の里で特別緑地保全地区に指定されている地域に、病院や医療に関する研究機関と住宅地をまとめた医療・産業複合都市を建設しようという「ハイメックス構想」です。

いずれも、国内・道内の大企業や大学が大きな関心を寄せ、市や道などと推進協議会を設立し、実現に向け基本構想などを策定しました。JRの新駅を作るなど今では考えられないほど大規模な計画でした。しかし、経済環境の悪化などにより、数年後、計画は取りやめとなりました。もし、実現されていたらどうなっていたかわかりませんが、ひと時大きな夢を見させてもらった仕事でした。

現在、学校教育課では市立小中学校の教育内容や教職員人事、学校保健など多岐にわたる業務を行っております。市内で育つ子供たちが大きな夢を持って巣立ってもらえるよう、地域・家庭・教職員の皆さんとともに努力してまいりたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月19日(火)  
**担当者** 教育部社会教育課長 吉田 智樹

おはようございます。教育委員会社会教育課長の吉田です。職員の皆さんにおかれましては3連休心身共にリフレッシュされたことと思います。

さて、社会教育課では、市民の皆さんの生涯にわたる主体的・自主的な学びとなる「生涯学習」の推進、さらには、学校教育以外の様々なサークルや団体の活動となる社会教育活動の推進。そして、健康でいきいきとした生活を営む上でのスポーツ・レクリエーション活動の推進や活動を行う場としての様々な施設の維持・管理を行っています。一年間、多くのイベント運営や社会教育・体育事業を2名の主査・5名のスタッフが一丸となって奮闘しているところであります。

今年度につきましては、市制20周年記念事業としまして、7月30日(土)総合体育館において、NHKEテレビで放送される「中学生バスケットボール教室」の公開収録、その後はレバンガ北海道の選手とバスケットボールを楽しむボールパークイベントを開催いたします。また、8月20日(土)中央公民館において日本相撲協会より力士3名にお越しいただき、本市児童を対象とした「少年少女相撲教室」を、一般の方にも公開で開催いたします。さらに、9月10日(土)には総合体育館において、日本トップリーグ機構による元全日本女子バレーボール選手の大山加奈さんをはじめとする、各競技のトップアスリートの指導によるボールに親しむイベント「ボールゲームフェスタ2016」が開催されます。職員の皆さんを含めた多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしております。

さて、7月・8月は、子どもたちの生活リズムの向上を目的とした「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化月間となっています。これは基本的な生活習慣を身に付け、生活リズムを向上させるため、特にリズムの乱れがちになる夏休み期間中、お子さんのいる方は是非、家族みんなで「早寝早起き朝ごはん」運動に積極的に取り組んでみてはいかがでしょうか。

また、子どもに限らず、職員においても、しっかりとした生活リズムを習慣づけ、心身共に明るく元気よく業務に取り組んでいきましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月20日(水)  
**担当者** 教育部文化課長 丸毛 直樹

おはようございます。教育部文化課長の丸毛です。

本日は、文化課のお話をいたします。

文化課の仕事には、大きく2つの柱があります。その1つは、地域における芸術文化活動の推進と、芸術文化ホールを中心とした芸術文化の振興です。

もう1つは、各地区、学校を含めた、図書館による読書活動の推進です。

はじめに芸術文化ホールは、芸術文化活動をはじめ、会議・研修の場などとして、多くの皆様にご利用いただいております。昨年度の利用者数は94,554人でありました。

また、図書館は本館のほか各地区の4つの図書室と移動図書館車を合わせて、昨年度の図書の貸出し冊数は、511,742冊でありました。これは、市民一人当たり年間8.65冊の貸出し数となり、道内の平均が約4冊でありますことから、市民の皆様の読書への関心の高さが伺えるところであります。

このような両施設で、欠かせない施設の魅力となっておりますのが、ボランティアの皆さんの活躍です。

芸術文化ホールでは、芸術文化の素晴らしさを知っていただくため、運営委員会により多彩な公演を企画運営しております。また、ホールの公演時には、花ホールスタッフの会の方々が、お客様のご案内、アナウンスや舞台のセットなどで活躍されています。

図書館では、読書活動を進めるボランティア団体が連携し、図書館フィールドネットを組織され、幅広く市民の皆様に読書に親しんでもらえるよう、読み聞かせや、朗読、本の修理など多彩な活動を展開されております。

このように両施設は、ボランティアの皆さんの協力があって、良好な運営が進められています。本当に、ボランティアの皆さんには感謝であります。

今後も施設の職員として、ボランティアの皆さんとのパートナーシップのもと、市民の皆様へのおもてなしの心を忘れずに、大切な皆様の施設を有効に活用して参りたいと考えています。是非皆さんも、芸術文化ホール、図書館をこれまでも増して、ご利用いただきますようお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月21日(木)

**担当者** 教育部エコミュージアムセンター長 小島 晶

おはようございます。エコミュージアムセンター長の小島晶です。

エコミュージアムセンター知新の駅がオープンしてから間もなく2年目を迎えますが、さまざまな事業を推進する毎日は、とても新鮮で刺激的です。

エコミュージアムセンターでは、平成21年度に策定した「エコミュージアム構想」を具体化する仕事メインとなっています。旧島松駅通所や知新の駅を管理運営することはもちろん、企画展や特別展、まちを好きになる市民大学、体験講座、講演会など、エコミュージアムの中心施設としての機能が発揮できるよう、日々、学芸員と事務職が力を合わせて、いろいろな分野の仕事を進めています。

平成28年度の事業では、北海道博物館共催事業として、4万5千年前にここでくらしていたマンモスを実物大模型として復活させるプロジェクトに取り組みました。のべ約1,000人もの児童生徒や道都大学生が関わって完成した親子のマンモス模型は、9月25日まで北海道博物館に展示されますので、ぜひご覧ください。また、市制施行20周年記念事業として、8月13日から11月20日までは企画展「祝いと記念の品品」を、来年2月から5月までは企画展「明治・大正時代の広島村を訪ねて」を開催する予定で、現在学芸員を中心に準備を進めています。また、冬休みの時期には子ども向けの特別展も予定しています。

さて、平成21年度から継続している「まちを好きになる市民大学」では、これまでの修了生103人を「まるごときたひろ博物館員」に認定し、修了生の約7割がOB会員として精力的に学び続けたり郷土関係の活動を続けたりしていることから、今後ともOB会の皆さんと声を掛け合い、協働していく必要を感じているところです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月22日（金）

**担当者** 教育部学校教育センター長 富田 英禎

おはようございます。学校給食センター長の富田英禎です。

今日、7月22日は、市内のほとんどの小学校とすべての中学校で終業式が行われます。夏休みを目前に、わくわくしながら家路へと急ぐ児童生徒の姿が見られることでしょう。

給食センターと中学校給食調理場は、夏休み明け、児童生徒の皆さんに、また安全で安心な学校給食を提供できるよう、この夏休みの間に掃除や点検修理を行い、再開の準備をします。

給食では、学年に応じて1食あたりに必要な栄養素が決められており、バランスよく摂取できるよう考えられています。また、毎日飽きずにおいしく食べられるよう、和食や洋食、煮物や揚げ物、肉や魚など同じようなメニューが続かないように配慮されています。調理方法も茹でたり炒めたり、味付けを変えたりと工夫しています。

栄養価が高く、バランスのとれた給食は、毎月栄養教諭が、栄養量は不足していないか、食材に偏りはないか、限られた調理時間の中で調理に無理は生じないかなど、あらゆる側面から検討を行っています。

さて、現在、学校給食は、栄養補給から食育の推進へとその目的を大きく変えてきています。家族で食卓を囲むことや、できたての温かい夕食を食べる機会が減少し、さらには食の多様化が進む中、日本食離れも進んでいます。給食は子どもたちに食の大切さや、大勢で食事を囲む楽しさ、日本の食文化を伝える役割も担っています。

小中学生のお子さんがある方は、この機会に給食のメニューについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月25日（月）  
**担当者** 消防本部総務課長 谷口 定己

おはようございます。消防本部総務課長の谷口と言います。

昨年4月に市役所から出向しています。

現在、消防職員は、再任用職員を含め93名おり、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、災害を防除し被害を軽減し傷病者の搬送を適切に行うことを任務としています。

災害は、いつ、どこで、どの様な火災や事故、救急等が発生するか分かりません。規模が大きい災害が発生しますと、ほとんどの職員が一斉に出動します。

このような職場ですから、日々、市役所とはまた違う緊張感があります。

私は消防吏員ではありませんので出動することはありませんが、消防に出向して、気持ちを新たにした良い経験をさせてもらっていると感じております。

市役所と消防では職種が違いますが、職員が緊張感を持って市民が安全で安心して暮らせることを目標に仕事をしていることは同じです。当然、仕事のつながりも多くあります。市役所と消防の職員がもっと深く交流し、互いに職場を理解し合い、違う緊張感を知ることも良いのではないかと思います。そのために、仕事を離れた場での情報交換をしたいと考えております。近いうちに声を掛けたいと思っていますのでよろしくお願いします。そしてその輪が広がって行けば良いことではないかと考えています。全職員は難しいかもしれませんが、職員同士が名前と顔が分かって、挨拶ができるようになればと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。



**放送日** 平成28年7月26日(火)  
**担当者** 消防本部予防課長 郷路 忠明

おはようございます。防本部予防課長の郷路です。

予防課長2年目ながら、奮闘中であります。

皆さんは、消防で災害現場活動をしていない人はいないと思われるでしょうが、消防には予防課があり、どんなことをしている部署なのかご存じないかと思い、今日は予防課について簡単にお話したいと思います。

予防課は消防本部内にあり、課長を含め予防、保安担当の日勤者と、隔日勤務者の査察1・2担当の11人が一緒に仕事をしています。業務は、その名のとおり火災予防を重点に置き、皆さんを火災等から安心して生活してもらう環境作りをしているのが予防課です。

たとえば、建物を建てる時の「建築確認」に伴い、防火に関する法令等の問題点がないかを確認する「消防同意」から始まり、皆さんの住居に設置されている「住宅用火災警報器」もその一つです。

逃げ遅れを防ぐために平成18年から設置義務化され、早10年が経過してきており、電池式の場合、電池切れのサインが出てくる時期でもあり、サインが出た場合は、すみやかに交換をお願いします。また、知人等で未だ設置されていない方がおりましたら、命を守るためにも設置のお勧めをしていただきたいと思います。

その他に、火災があった際の火災原因調査、建物の安全等を確認する査察業務、スタンドやタンクローリー等の危険物施設の許認可等をおこなっています。

予防課は、災害現場で人を助けることはできませんが、事前対策を取ることで、未然に沢山の人を救うことができる部署です。安心して安全な街を作るために皆さんのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月27日（水）  
**担当者** 消防本部警防課長 本田 高広

おはようございます。消防本部警防課長の本田といたします。

私が所属している消防本部では、毎朝、所属職員全員で、朝礼を行っています。

その内容は、まず、次長の「おはようございます」の挨拶にはじまり、総務課、予防課、警防課の順に課長が本日のスケジュール等を伝達し、各課の情報共有を図り、最後に次長が連絡事項を周知した後、「今日も一日よろしくお願いします」で締めくくり、本部職員全員が始業時のスイッチをいれているところです。

さて、警防課が担当している消防車両更新事業は、近年複雑多様化する各種災害に迅速かつ確実に対応し、効果的な消防活動を確保するため、老朽化した消防車両及び積載する資機材を計画的に更新するものです。

災害に即時対応するためには、消防車両、資機材、マンパワーの三つが揃うことでより大きな力を発揮することができ、どれか一つ欠けても円滑な活動が難しくなります。

また、消防車両、資機材を活用するにあたっては、消防職員が普段から色々な災害を想定し、実践さながらの訓練を繰り返し実施することで、市民の皆様安心して生活ができるまちに成るよう努めていきます。

最後に、消防職員が市民の皆様と接する機会の多くは、事故や怪我などにより動揺し困っている時なので、職員一人ひとりが市民目線で親切丁寧な対応ができるよう努力し、感謝されるような職員に成りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月28日(木)  
**担当者** 消防署消防1課長 後藤 英雄

おはようございます。消防1課長の後藤です。

今年度採用された職員はもう少しで4か月を迎えようとしていますが、仕事にはもう慣れたでしょうか？窓口に来るお客様は新人職員なのかベテラン職員なのかは解りません。ミスを犯してはならないので大変だと思います。

新人職員も一般業務を遂行しながら業務を覚えていかなければなりません。新人職員の研修は採用時の2週間程度の研修ではないでしょうか。そこから配属先の仕事を全て覚えることは難しいと思います。早く先輩職員と同じ対応をしなければなりませんね。

私が採用された時は半年間全寮制の江別市の消防学校に入校して全道の新人消防職員と一緒に訓練や座学に励んでいました。当時学んだ事の多くは忘れてしまいましたが、教官（消防学校では先生のことを教官と呼びます。）が言っていた言葉で、解らないことは先輩に聞くことが一番なんだということ、問題解決の近道は先輩に教えてもらうことです。

「聞くのは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということを教わりました。自分の中で転機が幾度かあります。職場の部署が変わった時、昇格した時などです。なんとなく今さら聞くのも「恥ずかしい」と思うことがあると思いますが、先輩や上司に相談することによって問題解決が早まることがあります。相談された先輩方も嫌な顔をせずにはこやかに対応すればそれが後輩の教育となり、結果として自信を持って市民に対応できることに繋がると思います。

ただし、聞くのは2回までにしてください。日頃からメモを取ることを心掛けてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成28年7月29日（金）  
**担当者** 消防署消防2課長 佐々木 幸一

おはようございます。消防2課長の佐々木です。

私のモットーは、健康第一！です。

身体の健康はもちろん、心の健康がとっても大事だと思いますが、一年通して常に心身の健康状態を良好に保つことってなかなか難しいことですよ？

新しいセクションで思うようにいかない方、昇任してストレスが溜まっている方もいるかと思います。睡眠不足や疲労で体調が悪い方も・・・。

大切なのは、コミュニケーション。

元気な挨拶、爽やかな挨拶、そして笑顔かなと思っています。

消防から市役所に電話するときは、外線電話になりますが、交換の方の爽やかな応対がとても気持ちが良いといつも感じます。昔からの伝統ですよ！プロフェッショナルだと思います。

消防署の勤務体系は、一日24時間拘束された特殊勤務で、チームワークが大事になります。と同時に、いろいろなストレスが溜まりやすい職場です。惨事ストレス、肉体的ストレス、精神的ストレスなどさまざまですが、大切なのは、コミュニケーション力。

通常勤務時は、市民の皆さんにはもちろん、職員同士でも元気な挨拶、爽やかな笑顔で応対しましょう。そして、災害出動時は、常に緊迫している状況です。相手も火災であれ救急・救助であれ、ほとんどの人が初めて経験することです。そうであるからこそ、常に相手を思いやり最初の言葉（挨拶）をかけてから接していきましょう！

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。